

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
・理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
・サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	社会福祉法人 葉港会 春日スプリングガーデン
(ユニット名)	グループホーム春日スプリングガーデン
所在地 (県・市町村名)	長崎県佐世保市春日町716-8
記入者名 (管理者)	酒井 博佳
記入日	平成 20年 11月 25日

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>管理者は運営理念をもとに、決して押し付けの介護ではなく、一人ひとりの尊厳を守り、これまでの生活に近い形でグループホームの生活が営むことが出来るよう職員に伝え意思統一を図っている。</p> <p>お一人、おひとりが、その方らしく尊厳が保たれた生活が過ごして頂けるよう取り組んでいる。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		<p>毎日の朝礼やミーティング等で運営理念を反復して学習し、入居者が尊厳を持って安らいだ生活がして頂けるような対応が実践出来る取り組んでいる。</p> <p>心からお世話させて頂く気持ちを基本に毎日の生活に取り組んでいる。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		<p>家族へは、入居時や面会時に一緒に談話する時に話題にしたりする。地域の人々には、介護教室や、パンフレット等において明示し理解を深める努力をしている。体験学習の受け入れ等取り組んでいる。</p> <p>家族の面会時には、必ず御一緒にお話の時間をもち、近況のみでなく、会話の中に管理者と共に理念の啓発に取り組んでいる。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		<p>地域に居たことがあったり、現在も住んで居る等、深く地域に係わりを持っている職員が多く地域の人々に顔見知りが多い。近隣の方とあいさつや世間話し等日常的なつきあいを心掛けている。</p> <p>管理者や従業員にも地域の住民が多く深く馴染みの関係がで来ている為、アットホームな感覚で来設の機会を増やす等、取り組んでいる。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		<p>町内会に入会し、地域神社のおくちに出しものの奉納をしたり、草刈、夏祭り、新年会等、地域活動に参加している。</p> <p>ひき続き、これまで以上に地域の一員として多くのことに取り組めるよう努めている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	法人全体で施設や地域公民館において課題を決め介護教室を行っている。運営推進会議等で地域住民の方と話し合う中で、今以上に新しい取り組みがないか意見の交換を行っています。地域の方が立ち寄り相談等に応じることがある。		地域の高齢者のみならず、介護されている家族等の気持ちの支えとなり、大きな支えとなるよう取組を継続している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を真摯に受け止め、職員へ改善や指摘された事に対して理解して行動できるよう指導し質の向上に取り組んでいる。		改善点の把握と改善へ向けての話し合いを行い、利用者のより良い生活の為に外部評価と自己評価の活用に取り組んでいる。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2～3ヶ月に一回の推進会議を行い、毎回状況説明等を行っている、外部評価の結果報告等もおこない、意見を参考にサービスの向上に生かしている。		引き続き、内容を継続している。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	法人として市町村との係わりを多くっており、管理者はOJTやミーティング等で質の向上について、啓発している。		これからも、法人の大きなバックアップとグループホームの質の向上に市町村と共に取り組んでいきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	法人として、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について、研修に参加し理解を深めている。必要な人の相談に応じる体制がある。		今後も法人として、又グループホームとして必要な人にはそれらを活用出来る様支援を継続していきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員に対して日々の礼会やミーティングで啓発したり、関連の資料等ファイルして学ぶ機会を増やす等努力している。虐待が無い様注意を払い、見逃さないよう取り組んでいる。		虐待は絶対に起こってはならない事である事を、全職員で認識し毎日の生活を送っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、契約書、重要事項説明書等、口頭にて説明を行い、疑問点等、回答するようにしている。</p>	<p>引き続き不安や疑問点に説明を行い理解され納得して頂く努力を継続していきたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居時等に苦情や相談窓口の説明を行っている。又苦情箱を玄関に設けている。家族とは来設の時等に話の中から疑問や不満が無いかコミュニケーションを取るよう取り組んでいる。</p>	<p>引き続き、コミュニケーションを大切にし、意見の引き出しに努力していきたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来訪時には必ず一緒にお話をする時間をもうけ、近況報告等行っている。</p>	<p>必ず、お話の時間を大切にしているのでこれからも、継続していきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居時等に苦情や相談窓口の説明を行っている。又来訪時に必ず近況を詳細に報告し相談に応じるように配慮している。</p>	<p>引き続き、取り組みの継続をおこなっている。家族会の発足のサポート等取り組みの継続をおこなっている。。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>会議やミーティング等で意見をあげ提案するようにしている。</p>	<p>引き続き、取り組みの継続をおこなっている。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者や家族の状況変化や要望に対応出来るよう勤務調整に取り組んでいる。</p>	<p>引き続き、取り組みの継続をおこなっている。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者のなじみの職員の異動や離職を出来る限り最小限におさえるように努めている。換わる場合も寂しい気持ちにならないよう配慮している。</p>	<p>引き続き、取り組みの継続をおこなっている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の方針として、可能な限り、外部の研修会への参加を奨励している。又、新人研修、全職員研修等は、職員互助会とも協議しながら、適宜実施している。	引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人の、多機能な事業に渡り係わりがあり、交流の機会を持つ事ができ管理者は、サービスの質の向上に取り組んでいる。	引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人内で、職員互助会組織を確立し、全職員による親睦会を開いている。又休憩所を設け、冷暖房を完備しゆったりとした、スペースを確保している。	引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の仕事に対する取り組み方や態度を把握しており、各自及びお互いに向上心を持って働けるよう努力している。	引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者本人の施設見学をお勧めし、見学の折には、ご本人との会話の中から不安な事など気づきを受けとめる努力をしている。	引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の施設見学をお勧めし、見学の折には、お話を聞き不安や求められている事を受けとめる努力をしている。	引き続き、取り組みの継続をおこなっている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時には、本人と家族に必要な支援の見極めに努力している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学時に一緒にお茶やおやつを頂いたりして、雰囲気にならないうちに馴染んでいただけるよう、工夫している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔の知識や得意分野を会話の中から探しだし活躍の場面を作ったり、思い出話しの中の気持ちを共有したりする。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族との連絡を蜜に行い、1回でも多く、家族や親戚の方との面会が増えるように努力している。又、来設時に様子を伝え話題を提供している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族や親戚の方の面会時には、ご一緒に話す時間を持ち本人から聞けない若いころの話や様子を伺い今の様子との繋がりを理解するように努めている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人からの話し等から、気に係られている人や場所が出たときには、家族にお話したりして、支援している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	良く話し相手になられる方同士を把握し、席の誘導をさり気なく行うようにしている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用終了後もご家族の相談があった場合は話を聞いたりし係わりを断ち切らない関係を大切にしている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者一人一人の生活歴、性格、思いを把握し職員同士で共有し本人の意向を優先するようにしている。		引き続き継続していきたい。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に情報収集し基礎情報シートの作成を行いこれまでの暮らしの把握に努めている。入所してからは、本人とのコミュニケーションの中で今までの生活について把握できるように努めている。		引き続き取り組みの内容を継続していきたい。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの生活パターンや身体機能・精神面の変化など職員で共有しできるだけその人に合わせた生活パターンを考慮するように取り組んでいる。		引き続き取り組みの内容を継続していきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人が充実した生活を送れるようにケアカンファを行い意見を出し合い介護計画を作成している。家族にも面会時に意見を聴いたり、計画書を一部お渡しして同意を得たりしている。		引き続き継続していきたい。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度介護計画の評価を行い、必要があれば、家族、関係者と話し合い現状に即した新たな計画を作成している。記録のレベルアップに取り組んでいる。		引き続き継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に生活記録や日々の実施記録を行っている。気づきなどあれば申し送りノートに記載し職員間で共有し介護計画の見直しに生かしている。		引き続き継続していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人として、多機能性があり、本人や家族の要望をお聞きし、柔軟な支援を提供できている。		引き続き継続していきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	町内の一員として、民生委員や老人会の方など、入居者の方と訪問時には、声掛けされ親しみをもって頂いている。消防機関とは、救急搬送や消防訓練等で救急時の対応を学んだりできおり、本人の必要性に応じて支援できている。		引き続き継続していきたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	法人の多機能性を活かし、地域の事業所とも利用者のために、支援している。		引き続き継続していきたい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	推進会議等で包括支援センターのケアマネージャーや家族の代表、地域の方を交え本人の意向や必要性に応じて協働している。		引き続き継続していきたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の要望を大切にしながら往診時等に本人の状態報告や診察時一緒に立会い、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら適切な医療を受けられるよう支援している。また本人の状態変化時は、すぐにかかりつけ医に連絡・指示が得られるような関係を築いている。		引き続き継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医が認知症の専門医である為いつでも認知症について支援してもらえる状況にある。		引き続き継続していきたい。
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	グループホームの職員として看護師が配置されており、日常の健康管理や医療活用の支援を行っている。		引き続き継続していきたい。
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中は、病院に出向き、医師・看護師から状態の説明を聴いたり、家族からの情報や現状の把握に努めている。その中で意見交換を行いながらスムーズな退院につながるよう支援している。		引き続き継続していきたい。
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	開設以来、初めて終末期を迎えられた方がおられる。ご本人が当施設に慣れ親しんでおられた為、ご家族全員が終末期を希望されたされ、5ヶ月に渡りご家族、主治医等全員と繰り返し方針を共有し介護を行った。		引き続き取り組み内容を継続していきたい。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や週末期を迎えられても、その方にとっての、より良く暮らせる要望を本人、家族に聞き、かかりつけ医と共に支援に取組み、今後の変化に備えられるよう、準備に取り組んでいる。		引き続き取り組み内容を継続していきたい。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	グループホームから退去される際に、本人の心身の状況に合わせ家族や各関係者の情報をもとに、本人の負担の軽減に努め住み替えを行っている。		引き続き取り組み内容を継続していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の身体状況に合わせ、人格を尊重し、誇りやプライバシーを守るように心がけている。	引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	改めて質問すると、答えられない方もおおいので、普段の会話の中から入居者の希望を聞き入れ、反映出来るよう努めている。	引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事等はだまかに決めているものの、その他の時間は、自分たちで決めてもらっている。	引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の好みに合わせて、着替えを支援している。自分で選ばれた物が、気候に合わない時は、さり気なく服装選びを一緒に行い、着替えを薦めてみたりする。本人や家族と相談して、美容院の利用を支援している。	引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立と調理は同一敷地内の厨房でしているが、片付け等は、出来る範囲で一緒に行っている。	引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	希望のお菓子等、買物時に購入したり、家族の差し入れ等皆さんと分け合ったりして楽しめる。	引き続き、取り組みの継続をおこなっている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンを調べ、把握して、トイレ誘導している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	バイタル後、健康状態と本人の意向に沿うように配慮し入浴している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個人の体調を第一に考え疲労気味の時には、休息を促したり、個室にて寄り添い、心身の安定に努めている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	花壇への水やり、茶碗拭き、洗濯たたみ、お掃除等、していただくと、「有難うございます。」の場面が増え張り合いになれる。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近所のお店での買物等、支援している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や隣接施設へ出かけたりしている。本人の希望を聞いたり、体調をみて支援している。家族への呼びかけもおこなっている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の来設時には、自宅への一時帰宅や家族宅への訪問等行きたいと思っておられる所への外出の実現への支援をしている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の希望があらわれる方には、お部屋で、気兼ねなくお話出来る様にコードレス電話で対応している。手紙や葉書の返事を書きたいと希望される時は、支援している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時には、居室又は、希望の場所に椅子等セッティングしたり、お茶をお出ししたりする。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束が、個人の人権を無視し、ADLの低下」になることを職員全てが認識しており、身体拘束を誘発する行動の要因を探り、除去するケアで対応している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠自体が入居者の心理的圧迫に繋がることを認識し日中は施錠しない。玄関先にチャイムを設置し事務所も玄関先に設けている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に見守りしやすい場所で記録などを行い、入居者の所在や行動を把握している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意が必要な物については入居時に本人や家族の了解のもとに、使用時以外預かったり、家族へ持ち帰りをお願いしている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒～見守りの強化と歩行介助の強化を行っている。 窒息～食事時の誤嚥による窒息防止の見守りの強化を行っている。 誤薬～袋に名前、日付等、必ず記載し、袋を残し確認している。 行方不明～出入り口のチャイム等設置し行動の把握に努めている。 火災防止～防火訓練や日常の防火意識の啓発に努めている。 事故防止～個人の行動傾向を職員同士、把握した事を申し送っている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急時には、第一に救急車の要請を行い、骨折時には、添え木の代わりにダンボールを当てたり、貧血には、頭を低くと、いった処置を行ったり、主治医への連絡を行って、指示を仰いでいる。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を行い、1回は夜間想定での避難総合訓練を消防署立会いのもと、行っている。近所の方にも、訓練時の開始時間等をお知らせしている。災害時の避難、協力、備蓄等の取り組みをしている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族には、面会時等にその方のリスクについてお話しする事がある。医療面においては、協力医の説明を聞いていただくようにしている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	本人からの、訴えは殆どの方がされないので、血压、特に、正確に計りにくい、検温を徹底している。又顔色や表情についても、職員同士情報を共有し、主治医へ早く連絡を取って対応している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師からの処方シートを基に全ての職員が情報を共有し服薬の支援を行っている。服薬管理表にて管理している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	野菜中心の食事が多い為便秘は殆どなく便秘時には飲水、運動等を勧め排便に心がけている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、うがいや歯磨き、義歯の手入れなど各個人で行えるよう支援している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量を主食と副食に分け記録している。食事時以外の水分摂取に配慮し個人の嗜好など取り入れている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い、うがいの励行、インフルエンザの予防接種を行っている。又感染症については、学習したり、ファイルを作り閲覧している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	常に衛生管理に努めている。調理器具や手指の衛生に努め、食材に関しても新鮮で安全な物を使用している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先や建物の周囲に、季節ごとの草花を植えて明るく過ごしやすい雰囲気のあるホーム作りに心がけている。出入り口の階段の上り下りは職員が細心の注意をはらっている。車が横付け出来るスロープがあり、送迎の際も細心の注意を払っている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明は刺激の少なく温かみのある暖色系を用いている。夏場西日を避ける為簾を置いたりしている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間のコーナーにはソファを置き、気軽にくつろいでいただけるようにしている。食堂や居間の部分も自由に出入り出来るように工夫されている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際には、いままでの使い慣れた物の引き続きの使用をお勧めしている。居住空間が大きく変化しない様に、家族の方の協力を得ている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	特に窓を閉めている季節は、起床前や食後等、適時換気に心がけている。湿度計や温度計にて、温度変化には気を配っている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、廊下、浴室等に、てすりを設置しており、全館バリアフリーであり、設備、備品にも配慮し工夫している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ご本人のやる気を尊重し、自分で出来られる事は見守りながら支援している。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	屋外にプランターや畑のスペースを設けている。水やりや育てた花を飾ったりしている。		引き続き、取り組みの継続をおこなっている。

サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

緑豊かなところで、皆様の第二の我が家とだけあって、自然なかたちで、
なごやかな日々を送って頂く事を目標に、スタッフ共々、ゆっくりとした時間を過ごしています。